

令和6年2月1日

会員 各位

一般社団法人岩手県薬剤師会
会長 畑澤 博巳

災害派遣薬剤師の募集について

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、石川県薬剤師会（以下、石川県薬）では、モバイルファーマシーを有する府県をはじめ各都道府県から派遣された薬剤師と連携し、各被災地の避難所等で懸命な医療支援活動等を継続されています。

当会としましても、事前募集に応募いただいた方々に2/7から出動いただくこととしておりますが、今後も引き続き薬剤師による支援が必要とされていることから、改めて派遣薬剤師の募集を行うこととしましたので、**応募される方は、別紙を参考のうえ、下記回答書に記入のうえFAXいただくか回答フォームにより岩手県薬剤師会事務局にご回答願います。**

※ 今回、応募いただいても派遣に至らないことがある、ということをご承知おき願います。

災害派遣薬剤師募集 申込書

令和6年能登半島地震に係る現地での活動に参加します。

令和6年2月 日

氏名		年齢	歳	性別	男・女	
勤務先名			地域薬剤師会名		薬剤師会	
電話番号		FAX番号				
携帯電話番号						
Eメール						
出動可能期間 (〇で囲んでください) ※移動日を含む	① 2/15 (木) ~ 19 (月)	② 2/19 (月) ~ 23 (金)	③ 2/23 (金) ~ 27 (火)	④ 2/27 (火) ~ 3/2 (土)	⑤ 3/2 (日) ~ 6 (水)	⑥ 3/6 (水) ~ 10 (日)

こちらのフォームからも回答いただけます。

<https://forms.gle/FWx3WXBysMBraKaTA>

回答期限：令和6年2月8日（木）

回答先：岩手県薬剤師会事務局 FAX 019-653-2273

Eメール ipa1head@rose.ocn.ne.jp



【令和6年能登半島地震における災害派遣薬剤師について】

1. 集合場所、派遣先について

(1) 集合場所：国立能登青少年交流の家

〒925-8530 石川県羽咋市柴垣町 14-5-6

TEL 0767-22-3121 FAX 0767-22-3125

(2) 予定派遣先：穴水町、輪島市、珠洲市、能登町

※ 派遣先は石川県薬でマッチングします。

2. 派遣期間等について

派遣期間は令和6年2月15日（木）以降となります。

1チーム3名による5日の活動（移動日込み）

3. 派遣薬剤師の調整

(1) 各都道府県薬剤師会は、派遣可能な薬剤師の名簿を日薬に提出。

(2) 日薬は、各県薬から提出された名簿をみて、派遣を依頼する県薬に連絡。

4. 費用負担など

(1) 損害保険及び賠償責任保険：日薬で一括加入（日薬負担）

(2) 交通費、宿泊費（宿泊された場合）雑費（高速代等）：石川県から支弁される予定

(3) 集合場所（石川県薬剤師会館）まで交通費：岩手県薬負担

(4) その他、活動に関わる費用：原則として、岩手県薬剤師会で負担。

※ 一時的に立替払いをお願いすることがあるかもしれませんが、おって清算させていただきますので、領収書を必ず保管して下さい。

5. 派遣にあたっての留意事項

(1) 宿泊に関しては、石川県薬及び日薬で宿泊可能な施設（「国立能登青少年交流の家」：石川県羽咋市）を確保しています。

(2) 携行備品について、別添の携行備品リストをご確認ください。金沢駅周辺や羽咋市柴垣の宿泊施設に向かう間では水、食料の手配が可能です。避難所によっては水、食料が手に入りにくい所がございますので、あらかじめご注意ください。

(3) 活動場所に向かうレンタカーにつきましては、日本薬剤師会で手配します。

(4) 活動内容は、調剤、医薬品・OTCの管理のほか、避難所の感染制御対策、公衆衛生管理等となります。その他にも業務が発生する場合がございますので、詳細は現地にてご確認ください。

(5) 交通事情、現地のライフライン、食事、宿泊、トイレ事情、必要物資などは、日々、状況が変化しますので、石川県のホームページ等でご確認下さい。

(6) 支援に必要な医薬品は石川県薬で手配いたしますので、医薬品は持参しないでください。

6. 本件に関する連絡・照会先

岩手県薬剤師会事務局 TEL 019-622-2467

以上

災害支援薬剤師で石川県に入る先生へ

日本薬剤師会

このたびは、災害支援にご協力いただきありがとうございます。

金沢市内は、コンビニ、飲食店、大型商業施設など平常通りですので、必要なものは金沢市内で揃えることもできます。現地拠点は、石川県薬と羽咋市柴垣（国立能登青少年交流の家）で、羽咋市柴垣が宿舎になる班が多いと思います。石川県薬へ寄ってから支援に入る方は、石川県薬にいる日薬担当者に詳細をお伺いください。下記に、被災地に入った支援者の声から届いた携行備品を参考までにお伝えします。どうぞよろしくお願ひします。

【携行備品リスト】個人で準備するもの

重要度 A

- ・フード付きのアウター（防寒性のインナー）
- ・着替え（洗濯機は宿舎になし）
- ・歯ミガキセット
- ・防水性の高い靴
- ・マスク
- ・携帯充電器
- ・室内用スリッパ
- ・パソコンもしくはタブレット（宿舎での作業用）
- ・タコ足電源ソケットもしくは、多口延長コード
- ・（珠洲派遣の場合は）寝袋

重要度 B

- ・雨具
- ・アイマスク
- ・シャチハタ印
- ・モバイルバッテリー
- ・メモ帳
- ・筆記具

重要度 C

- ・自分用食事（コンビニで調達可能だが、こだわりの一品は持参していた方が良いでしょう）
- ・カイロ
- ・消毒用エタノール（アルコールティッシュ備蓄あり）
- ・ボディシート（もし、入浴できない地域に行った場合用）